

平成24年教育委員会第4回臨時会会議録

開会日時 平成24年4月27日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午前11時10分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 面田博子
同職務代理 松本 實
委 員 遠藤勝男
委 員 佐藤 昭
委 員 竹高京子
教育長 山崎喜久雄

議場出席委員

・教育次長	濱中 輝	・教育振興担当部長	坂田 祐次
・庶務課長	駒井 正美	・教育計画推進担当課長	若林 繁
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	岡部 良美	・統括指導主事	志村 昌孝
・地域教育課長	小曾根 豊	・生涯学習課長	今井 英敬
・生涯スポーツ課長	柴田 賢司	・中央図書館長	橋本 幸夫

書 記

・企画係長 菊池 嘉昭

開会宣言 委員長 面田 博子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 面田 博子 委員 松本 實 委員 山崎喜久雄
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

○委員長 それでは、ただいまから平成24年教育委員会第4回臨時会を開会いたします。

本日の会議録の署名は、私に加えまして、松本委員と山崎教育長にお願いをいたします。

それでは、議事に入ります。

本日は議案等はございません。

では、次に報告事項等に入ります。

報告事項等1「平成23年度『各学校における教育振興ビジョンの取組状況』に関する調査結果について」、指導室長、報告お願いいたします。

○指導室長 それでは、私のほうから「平成23年度『各学校における教育振興ビジョンの取組状況』に関する調査結果について」、ご報告をさせていただきます。

この調査は平成23年度の各学校における教育振興ビジョンの取組状況を、学校長が5段階で自己評価したものでございます。今、それぞれの資料をお目通しいただいておりますけれども、項目ごとに平均を一覧にしたものでございます。

評価項目が高いものとしたしましては、まず確かな学力の定着につきましては、小学校では3番の授業時数と学習機会の確保、10番の読書活動・学校図書館の充実、そして7番の特別支援教育の充実となっております。中学校では3番の授業時数と学習機会の確保、7番の特別支援教育の充実、そして1番のわかる授業の推進となっております。

続きまして、豊かな心の育成に向けた取組についてご説明をいたします。小学校では15番のいじめ・不登校への対応、16番体験活動の充実、14番の健全育成・生活指導の充実となっております。中学校におきましては、16番の体験活動の充実、14番の健全育成・生活指導の充実、15番のいじめ・不登校への対応、18番の部活動の充実などとなっております。

次に、健やかな体の成長について、お話をいたします。高い項目としたしましては、小学校では19番の健康教育の推進、20番体力の向上、21番食育の推進となっております。中学校では21番の食育の推進、20番の体力の向上が高い項目となっております。

最後に、良好な教育環境の整備についてお話を申し上げます。小学校、中学校ともに23番の特色ある学校づくりの推進が小・中ともに4.3という評価となっております。

評価の低い項目としたしましては、小学校全体を見ますと、13番幼児教育の充実、26番小中一貫教育等の推進、27番の学校地域応援団の推進となっております。中学校におきましては、27番の学校地域応援団の推進がやはり低い項目となっております。

今年度は教育振興ビジョン第2次の4年目となりますので、今回取組状況調査をもとに、昨年度掲げましたビジョンの数値目標が達成されますように、指導主事が学校に行くようにして、さらに学校長の意識等を高めていくことで指導・助言をしてまいりたいと思っております。

私のほうからのご説明は、以上でございます。

○委員長 今、報告がございました。質問等ありましたらお願いをいたします。

竹高委員。

○竹高委員 この振興ビジョンの調査結果なのですけれども、校長先生に自己評価していただいておりますが、これを副校長先生や主幹の先生にアンケートをとるといってお考えはないのでしょうか。

○委員長 指導室長。

○指導室長 今までは学校長にしかとっておりませんでした。今、いただいたご意見を含めて、なかなか校長1人の、ある意味では、当然経営者ですので、責任はあるのですが、主観に偏っている部分もあると思われまますので、副校長、主幹教諭からのアンケートについてもこれからちょっと検討して、できれば実施をしてみたいというふうに思っております。ありがとうございます。

○委員長 ほかにございませんか。

遠藤委員。

○遠藤委員 15番であります。いじめ・不登校への対応、大変評価が高いようではありますが、いじめ・不登校が増えてきているという実態と評価の乖離をどういうふうに理解していらっしゃるのか聞かせていただければと思います。

○委員長 指導室長。

○指導室長 今いただきましたご意見でございます。各学校の中で組織的に取り組む、それからスクールカウンセラー、巡回型スクールカウンセラー、それから関係機関との連携によって、学校のほうも進めているということが現状ではございます。しかし、まだそれを受けても、なかなか対応が遅れてしまったということが響いていたり、それから、まだまだ学校に復帰するということまでは至っていないという現状もあるのは私も把握しております。そういうことでありますので、取り組んではいるのだけれどもまだ結果が出ていないという状況もございまして、今、教育委員会といたしてもさらにいろいろ支援チームをつくりながら、不登校にまづならない、そしてなった場合には早期に対応して、できるだけ早く復帰ができるという復帰率も高めることを目指しまして、これからも取り組んでまいりたいと思っております。まだ、結果としては十分に出ていないということは非常に残念なことではありますけれども、今後もさらに充実した指導をしていきたいというふうに思っております。

○委員長 ほかにございませんか。

松本委員。

○松本委員 本区の教育課題は学力の向上と体力の向上と、今出ましたいじめ・不登校の防止、これが3大課題であると私は考えています。そこで、この三つの取組に関係あるところを見ますと、わりと評価はいいわけです。例えば、学力で言いますと1番と4番、豊かな心の例

は15番、健やかな体の成長の20番。評価はわりといいのだけれども、実態は大きな課題を抱えているということがありますので、取組についてやっているのだけれども、中身についてもう少し工夫、検討して、さらに進めていく必要があると思います。

次に、27番の学校地域応援団の推進をしているわけですがけれども、この評価が低いところが気になります。各学校を見てみると、この地域応援団を公式にやらなくても、今までもかなりの地域と連携してやっているの、そのことを踏まえて、早く地域応援団として正式に認めてあげて、さらに進めていけたらいいなと思います。

学校訪問や校長のヒアリング等で指導室も行くと思いますけれども、以上のようなことに触れながら指導、助言していただければと思います。教育委員としても、各学校長と話す機会もこれからあるというふうに伺っておりますので、そういうところを話し合いしていきたいと思っています。

以上です。

○委員長 指導室長。

○指導室長 ありがとうございます。これから私たちも学校を訪問するときに、実は学校長の経営方針はしっかり示されているのだけれども、まだまだ組織的にすべての教員が十分に機能していない部分はあるように私も思っております。今、学校長との話の中で、全体組織的に一丸となってやっていかなければ、学力向上も体力向上も、そして不登校、いじめの問題につきましても、やはり解決はなかなかできないというふうに話しております。さらに学校訪問等を通して、学校長の経営方針がきちっと全体で一丸となることができるように、私たちのほうも指導、助言を進めてまいりたいと思っています。

○委員長 地域教育課長。

○地域教育課長 今、ございました2点目の、学校地域応援団の件でございますけれども、まだ全校に対して21校、20応援団ということでございますので、進捗状況を考えたときにはまだ学校単位では十分にっていないという状況があります。おそらくその辺が、実質的な取組は従前からのものがあるけれども、応援団としてはまだ成立していないということが反映されているのかなと想像されます。あともう1点、今後進めてほしいというお話ですがけれども、引き続き計画的に進めていくということで考えておりますので、頑張って取り組んでいきたいと思っています。

以上です。

○委員長 よろしいでしょうか。ほかに。

竹高委員。

○竹高委員 先ほどの、学校地域応援団についてのお話ですがけれども、この数値が低いというのは、地域のほうで、学校地域応援団にするための形というもののつくり方が難しい学校とい

うのがたくさんあるようにお聞きしております。当初から、学校地域応援団を立ち上げなくても、その地域の方が学校を応援している形がすごくたくさん葛飾区の中ではあるというふうに思われるので、新たに学校地域応援団という名前にする、形にしにくいという学校も多々あるとは思いますが、その部分を、デリケートな問題にもなりますので、地域と学校のほうとのコミュニケーションをとっていただいた上で、地域応援団を立ち上げることを推進していただきたいと思います。

○委員長 地域教育課長。

○地域教育課長 今、竹高委員がおっしゃったように、確かに学校、あるいは地域で事情があるのだらうと思いますので、その辺も踏まえながら、地域応援団という形で——形というに変ですけども、整備されるほうが、よりメリットが大きいというところを含めて、きちんとお話をしながら、どういう形がいいのかというのは整理をしていきたいというふうに思います。

○委員長 よろしいですか。

○竹高委員 よろしく願いいたします。

○委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 この表を見てもみると、26、27が低いわけです。そして、小中一貫教育等の推進というのはやはり5カ所の小中学校と、それからほかのところは温度差があるのかなというような気がします。それから、今問題になっている学校地域応援団の推進なのですが、特に中学校の場合なのですが、2.5という低い数字なのですが、校長先生としてはどのようなことを期待しているのか、もしそういうようなことがわかれば、ちょっと教えていただきたいのです。

○委員長 地域教育課長。

○地域教育課長 そのこのところの詳細は、今のところちょっとまだ、把握しきれていないのですけれども、ただ一方では、これまで学校の見守りですとか、そういうことをやってきた、あるいはサポーター的な役割を果たしてきているというところで、例えば実際には中学なんかですと、学力の部分の話なんかもあるのだらうというふうには思っています。ですからそうした中で、直接的なお答えにはならないかもしれないですけども、それぞれの学校でどういうニーズがあるのかということ踏まえながら、そのこのところの整理はしていきたいと思っています。必ずしも一律的な形ではないのだらうというふうには理解をしておりますので、ニーズに即したものができればより効果が発揮できるのではないかなと思っていますところ。

以上です。

○委員長 教育長。

○教育長 ちょっと補足させていただきます。昨年、今後数年にわたる応援団設置の見通しや校長の考えについて、全校長にアンケート調査をして、この委員会にも報告いたしました。内容的に細かな点はそこに書かれており、校長先生方が今感じているところというのがそこで明

らかになっています。学校地域応援団の意義は、今まで活動してきたものを学校地域応援団とすることによって、幅広く、それ以上の活動が期待できるといったメリットがありますので、アンケート調査の結果を把握しながら、これから着実に進めていくことが大事かなと思っております。

○委員長 よろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。

それでしたら私のほうから一つ伺いたいのですけれども、これはいわゆる全部の学校の平均値ということで出ているのですよね。ということは、各学校の自己評価の点数というのがあると思うのですけれども、気になるのは2とか、まさか1はないだろうと思うのですけれども、そういうようなことで、ある意味、そのビジョンに対して取り組みたいのだけれども、困っているというのか、それともビジョンに対しての理解が十分でないのか。校長先生の意識というのか、その辺も含めて、2とか1とかがかなり気になったようなアンケートがあったかどうかをまず一つ伺いたい。

それから、もう一つ、25番ですね。これはもう校長にしてみますと非常に、一番大事なことだと思うのです。小学校は少しではあるけれども伸びてきている。中学校も頑張っ、数値が下に下がってはないと——平均ですけれどもね。そういうふうに私はとらえたのですけれども、若い新卒とか、それから4年目とか、6年目かな。そのあたりの研修はとても機会が多いなど、プランはされていると思うのですけれども、学校には20年とか、もっとベテランもいますし、その辺の研修に対しても何か教育委員会も考えなければいけないのかなんていう思いをしたりしたのですけれども、もしその辺、何かお考えがあったらと。

その二つをお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 まず、自己評価の低い評価のことについて、ご質問にお答えをさせていただきます。平均値がこのような数値ですので、学校長によっては低い自己評価をしている学校もございます。これから、学校のほうに指導主事が訪問を、今、始めておりますけれども、その際にこの自己評価を持って行って、例えば、低い評価になっている理由が、私たちのほうで支援して解決する問題なのか。それから、また逆に、校長先生のさらなる努力によって解決する問題なのか。その辺はしっかり聞き取りながら、私たちのほうでも進めてまいりたいというふうに思っています。

2点目の、教職員の資質、能力の向上でございます。確かに、もうかなりのベテラン教員に対しては研修を、かなりある意味では自主的な部分に任せている部分もございます。そういう意味では、一つは東京都教育委員会の研修等についても、やはり校長を通して、自己申告を、教員と面談をする際に、こういう部分の研修をしたらどうだということを校長のほうから各職員に伝えてもらうということも私は重要だというふうに思っております。あわせて、今進めてお

ります校内でのOJTによる研修も充実させるなどして、区のほうとしても転入者とか、ある程度の年次の研修というのは行いますけれども、やはり回数も少ないという部分もございますので、そういうところも全部含めて、ベテラン教員のさらなる意欲の向上とスキルアップに向けて、私たちのほうも取り組んでまいりたいと思います。

○委員長 よろしく願いをいたします。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○委員長 では次にまいります。報告事項等2「平成23年度『授業力向上プロジェクト』の実施状況について」、指導室長、報告をお願いをいたします。

○指導室長 それでは、「平成23年度『授業力向上プロジェクト』の実施状況について」、ご報告をさせていただきます。

平成23年度、さらなる学力の向上に向けまして、教員の授業力を向上させることが重要であるととらえまして、小学校の教員を対象に、学力調査の結果を直接的に授業改善に結びつけ、児童の学びの質を上げ、学力向上につなげることを目的とした、授業力向上プロジェクトの実施をいたしました。昨年度につきましては、1月からの実施でございましたが、区内小学校5校について実施をしております。

この授業力向上プロジェクトでは、学識経験者等の外部人材を活用いたしまして、児童の学力調査の結果から、担当教員の授業を進める上での課題を明確にし、新たに開発をいたしました、今日、添付をさせていただきました授業力——ここでは評価票と書かせていただいておりますけれども、授業改善診断シートをもとに、授業改善のシートを作成いたしました。2回の授業参観をいたしまして、それぞれの教員の授業力の評価を行いまして、授業改善の指導を実施したところでございます。詳細につきましては、そこにごございます資料に書かせていただいております。

本プロジェクトの実施をいたしました成果でございます。4番目に、平成23年度事業の成果と課題として書かせていただいておりますが、まず、これによりまして、対象教員の授業改善へ向けた意識の向上を図ることができたことが一番大きな成果でございます。また、有識者による授業力評価に当たりまして、学校、管理職を通じまして、対象教員にあらかじめ評価票の観点を提示したことによりまして、対象教員がその評価票を意識しながら授業に臨むことができるようにもなっております。さらに、指導、助言の内容が、観察した授業、教科以外にも及ぶなど、有識者の方の豊富な経験を最大限に生かした助言によりまして、対象教員の授業改善の規則がしっかりとする、やはり有意義な助言を得ることができたと考えております。

さらに、授業の検討を管理職とともに実証いたしましたため、本プロジェクトの趣旨にございます学校全体においても活用を図ることができたというメリットがございました。実施をい

たしました学校の校長先生からは、授業力評価診断シートを用いまして、今回の対象教員だけではなくて、他の教員の授業を見る際の視点としても参考になり、学校経営に役立ったという報告も聞いております。

教育委員会といたしましては、平成23年度の本事業の実施を踏まえまして、今年度につきましては、小学校は引き続き10校を目標に実施をして参る予定でございます。また、今年度は中学校につきましても、国語、数学、英語の担当教員を対象に、10校程度という形で実施をして参る予定でございます。

ご報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。今、報告がございました。質問等ありましたらお願いいたします。

松本委員。

○松本委員 23年度は1月から導入して、急遽入ったので、モデルとしての実施だったのですが、実施した学校の管理職と私が話す機会があつて聞いてみました。この有識者という方は、ほかの県の校長を経験した人が来て、校長と一緒に指導したということでした。知らない人からの授業を評価してもらって、指導を受けたので、新鮮な感じで、本人は緊張感もあつて大分成果があつたということを知っています。

それで、これからこれを区で導入するのだけれども、どんなことがありますかという質問に対しては、学力が低くて伸ばしたいと思っている学校に入れるといいなということとか、個人の教員としては、授業にまだ自信がなくて、これから指導、援助が必要などころにあてていくと、効果が大いのではないかと聞いてきて、24年度このモデルの実施を参考に、区全体に広げていけばいいなというふうに私は思いました。

○委員長 指導室長。

○指導室長 今、松本委員からのお話ありがとうございます。今、私たちも学校に……。昨日も教育長と部長と回らせていただきましたけれども、それぞれの校長先生に対して、また、今年度もこの授業力向上プロジェクトを実施いたしますので、積極的に応募していただくようお願いをしております。授業力にまだ自信のない教員、そして、学力がやはりまだまだ不十分な学校につきまして、選定をする際に、そのあたりも考慮しながら、実施校を決めてまいりたいというふうに思っております。

○委員長 ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

一つ私から伺いたい。この事業の受託業者——株式会社学習調査エデュフロントというのは、具体的にはほかの区でいろいろやった実績があるのか、そのあたりを聞きたいのと、どんなものを……。例えばこの評価票をつくるのか、どういうプランとか、そういうちょっと……。受託業者がどういうことを受託されてやっているのか、わかる範囲で結構です。教えてください。

指導室長。

○指導室長 今、受託の業者につきましてはそのように、名称になっておりますけれども、今回につきましては、教科書会社の東京書籍株式会社のところといろいろ相談をいたしまして、そこにまつわる、例えば、東京教育研究所というのがございまして、そちらの方からご紹介をいただいてということで、今年度につきましては実施をしております。今回のものについては、この実施をする中で、まず評価票を作成するとか、そのシートの検討等についても、学校訪問の前に集まっておきまして、作成をしていただいております。今年、まだ実施したばかりですので、いろいろな部分で課題は出てくると思いますし、今後、似た業者の選定を委嘱するときにも、また、いろいろ課題も踏まえながら、選定をしていきたいというふうに思っております。

○委員長 もう一つ伺いたいのは、これと同じようなシートは他区では使っていないということなのでしょうか。葛飾に合わせたという……。その点は。

指導室長。

○指導室長 こちらにつきましては、本区の今回のプロジェクトに向けたオリジナルということで作っております。

○委員長 わかりました。ありがとうございます。よろしいでしょうか。

では、次にいきます。報告事項等3「平成24年度道徳授業地区公開講座について」、指導室長、お願いいたします。

○指導室長 それでは私のほうから、道徳授業地区公開講座についてご報告をさせていただきます。

この道徳授業地区公開講座は、平成14年の4月より東京都内の全小・中学校で実施をされております。道徳授業地区公開講座の趣旨は、小・中学校における道徳授業の活性化を図るとともに、保護者、区民の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による道徳教育の推進に資するとなっております。こちらのねらいにつきましては、一つ目は、子どもの豊かな心を育てるための意見交換を通して、家庭・学校・地域社会が一体となった道徳教育を推進すること。2点目は、道徳の授業の質を高め、道徳の時間の活性化を図ること。そして3点目は、道徳の授業を公開することにより、開かれた学校を推進することとして実施をしております。

さて、本区の道徳授業地区公開講座への家庭、地域の参加状況について、そちらの資料にも書かせていただきました。初めに、小学校についてご説明をさせていただきます。括弧内は、平成22年度の数字でございます。保護者の参加、区民の方の参加が22年度と比べまして、減少をしております。しかし、意見交換会への参加者につきましては、大きく増加をしております。平成23年度には葛飾教育の日に道徳授業地区公開講座を実施いたしました学校が47校、そして、日曜日に実施した学校が1校、合計48校が実施をしております。平成22年度には、44校でした

ので、こちらのほうも増加をしております。各校におきましても、意見交換会を充実させたことによりまして、地域関係者や保護者の参加が増えたものと考えております。平成24年度につきましては49校が葛飾教育の日を活用して、小学校は実施するとなっておりますので、より多くの保護者や区民の参加が期待をされております。

続きまして、中学校についてご説明をさせていただきます。保護者の参加や意見交換会への参加者が中学校の場合も減少をしております。しかし、保護者や地域住民等の授業協力者の数が増加しているということもございます。平成23年度葛飾教育の日に道徳授業地区公開講座を実施した学校は23校でございました。今年度は、19校が葛飾教育の日を活用する実施ということで予定をされております。中学校ですので、平日に実施をするとか、その年、その年のバランスを考えながら、土曜日は、葛飾教育の日には通常の授業を実施するということを予定している中学校が今年度ございます。中学生は特に多感な成長期でございますので、多くの大人が指導にかかわることにより、子どもたちは大きく成長いたします。今後も道徳授業地区公開講座への保護者の参加を、中学校のほうでは強く呼びかけていただくとともに、また地域の連携を深めるなどの指導をしてみたいと考えております。

さらに、今後の道徳授業地区公開講座を通して、道徳の時間の活性化を図ってまいりたいというふうに思っております。そのために各校で1名おります道徳教育推進教師の研修会をはじめ、校長会、副校長会、教務主任研修会、初任者研修会など、あらゆる機会をとらえまして、こちらの道徳授業地区公開講座または道徳の時間の指導の充実に向けまして、これから指導、助言をしてみたいです。

なお、資料といたしまして、本年度の区内の小中学校の道徳授業地区公開講座の一覧表を掲載させていただきました。公開日時につきましては葛飾区のホームページにも掲載いたしまして、広く保護者や区民の皆様に参加ができるようにしております。また、これにつきましては東京都教育委員会のホームページにも掲載をいたしまして、地域、保護者の方も、道徳授業地区公開講座への意識を高めてまいりたいと思っております。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。質問等ありましたらお願いをいたします。

遠藤委員。

○遠藤委員 道徳授業の公開講座、大変すばらしい結果が出ているようであります。道徳教育が始まってからも数十年という月日が流れているわけでありますが、当時、この道徳教育がこうして地域に公開をされるなんていうことは、だれも考えていなかったような、また、不可能ととれるような考えがありました。これまでの、努力されてきました関係者の皆さんに、心から敬意を表するわけでありますが、特に小学校の保護者の参加数が、若干減ってはいるものの、意見交換会の参加者が大幅にふえているということは、特筆すべき点はないかと思いま

す。ところで、この意見交換会での意見の内容につきましては、さまざまなご意見が出ているのではないかと思います。この意見は当然学校側、そして保護者側も、出た意見に対して、今後に活かしていくというのが最大の趣旨ではないかと思います。その中で、活かしていくべきであるというようなご意見が出ているかと思います。差し支えない範囲内で教えていただければと思います。

○委員長 指導室長。

○指導室長 意見交換会につきましては、例えば、体育館で学校長などがおりまして、きょうの道徳の授業を見てどのように感じたかとか、学校長またはいろいろな方が講演をする中で、実際にそれについての感想を述べたりするようなことで意見交換会をしております。

しかしながら、この意見交換を通して、学校での子どもの様子がよくわかったという意見もよく聞いております。そして、学校でやること、さらに保護者や地域として取り組めることはどんなことなのかということで、意見交換が活発に行われたというふうに聞いております。例えば本区で推進しておりますあいさつにつきましても、やはり学校のほうであいさつ運動を実施しておりますけれども、なかなか子どもたちの中には、通学途中であいさつが十分ではないというようなことも、保護者や地域の方からも聞いております。そのようなところについて、子どもたちが当然あいさつすることも大事なことでありますが、地域の方から子どもたちのほうにもさらに声かけをしていただく。そういう形で、同じ方向で地域・学校・保護者の方が進むということで意見交換会が進められております。学校といたしましても、この道徳授業地区公開講座の結果、それから様子につきましては、学校だよりやホームページ等で実際いろいろな方に見ていただいて、次年度または今年度の道徳の授業についてもさらに関心を持っていただくというふうにもしているところでございます。

以上でございます。

○委員長 よろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。

松本委員。

○松本委員 この道徳授業地区公開講座が入る折に現場にいましたので、今のこの公開講座と比べて、どのようになったか申し上げたいと思います。

先ほど遠藤委員が言われたように、教員の中には道徳の授業をやること自体とか、公開するとまでは到底いかないレベルの教員がいたわけですが、これが導入されまして、もうそのレベルは越えて、葛飾区がやった道徳教育の悉皆研修なんかも受けて、大変意欲的に道徳の授業の内容も活性化されていると思います。どこで見られても恥ずかしくない授業をやるまでレベルは上がっていると思います。今後は、やはりここのねらいの(1)番の意見交換会にできるだけ多くの方、学校にかかわっている多くの方と意見を交換して、学校、家庭、地域が一体となって道徳を進めるのだという意識をして、先ほどの学校地域応援団のようなことも絡めて、

大勢の人で子どもを育てていくというところにウエートを置いていけばいいのではないかと思います。そのためにはややマンネリ化している部分が見られますので、中身を工夫していただければいいなと思います。

○委員長 指導室長。

○指導室長 意見交換会の充実、私も非常に大切だというふうに思っています。

東京都の調査で、道徳授業地区公開講座については毎年調査をしているのですが、やはりこの意見交換会の充実という意味では、区のほうといたしましても、例えば学校がこのような工夫をしたとか、具体的に学校のほうから出してもらいまして、このような形でやるとより意見交換会にも参加者が増える、そして内容も非常によいものになるということで、それをまとめましてまた各学校には情報を伝えてまいりたいというふうに思っております。

○委員長 ほかにございませんでしょうか。

ないようでしたら、私のほうから。私も去年、おとしと道徳授業地区公開講座、何校か行かせてもらいました。ここの数値にも出ておりますが、保護者はもちろんですけども、区民でその他の方が結構増えてきているなというのをとてもいいことだというふうにとらえております。それは、各学校が苦勞して、そういう方に来てもらえるような声かけをしているのだろうし、先ほど指導室長のおっしゃったホームページ等で載せているということで。まずは学校に来ていただいて、子どもの様子や中の様子を見ていただくことでないと、理解も支援もできませんから。一步前進するいいものになっていくのはそこらあたりだなというふうに思いました。その要因の一つとしては土曜日に地区公開講座を位置づけて、葛飾教育の日だよということで、区を挙げた取組、そういうものが区民の方々にいい影響を与えているのかな、お見えになる気持ちにさせているのかなというふうに思いました。やはり工夫をしながら、これが本当に充実して、このことが地域でも話題になっていくともっとうれしいなというふうに思いました。感想です。ありがとうございました。では、よろしいでしょうか。

次にまいります。報告事項等4「2012年子どもまつりの実施結果について」、地域教育課長。

○地域教育課長 2012年子どもまつりの実施結果についてご報告させていただきます。

当日は早朝から、教育委員の皆さんにお越しいたごきありがとうございました。おかげさまで4月22日当日、前日の設営も含めてですが、雨が心配されたのですけれども、何とかもちまして、無事に開催にこぎつけられたという状況でございました。しかしながら、そこに記載させていただいていますように、もともと午後3時までの予定でしたけれども、残念ながらお昼をもって打ち切りという状況になってしまいました。もう少し後という雨の予報を聞いていたものですから、うまくすれば3時まで完走ができるのではないかというふうに期待していたのですけれども、現実的には、お昼前から雨がぽつぽつ降ってきて、かなりの雨になったという状況でございました。もともとそういう天気予報でございましたので、雨が降ったらどうしよ

うというのを事前に課の中でもシミュレーションという大げさですけども、時間別に想定をしておりました。最低でも午前中ぐらいはやりたいという気持ちでしたものですから、最低限のノルマというか、目標は達成できたのかなと思っていますけれども、できましたら最後までやればもう少し多くのご家族、あるいはお子さんたちに参加いただけたのかなというふうに思っているところでございます。

また、そうした中でも、中央ステージでも催し物がいろいろあったのですけれども、順番を弾力的に対応して、せっかく保田から来ていた子どもたちがソーラン節を……。もともと午後のメニューだったのですけれども、お昼前に何とか押し込んで、踊っていただくなどできたので、短い時間でもそれなりに充実はしていたのかなというふうには思っています。

このように、雨とにらめっこの状況になったわけですが、2時、3時ぐらいからぼつぼつきて、4時ぐらいから本格的に降り出すという情報があったものですから、1時間繰り上げかなんていう話を開会式が終わった後、実はしていたところでした。そういう話をしている間にも、ぼつぼつ降り出してきて、11時過ぎには本格的に降ってきてしまったという状況でございました。そのところで子ども育成会連合会などと協議して、屋外であり、滑ったりして危ないという状況もありますので、早目に切り上げるということで最終的にお昼をもって中止という判断をしたところでございます。

結局、あの後、お昼から1時ぐらいまで、結構な雨が降ってきたという状況でございましたので、当日お見えになっていた方も何でやめてしまうのだとか、そういう苦情だとか混乱もなく、皆さん速やかに……。もともと雨が見込まれていましたので、雨具なども用意されて、速やかに撤収されたのかなと思っていますところでございます。そうしたことで、特にそういう苦情ですとか、お帰りの際の混乱もなく、その後の撤収作業も無事にできたという状況でございました。そうした短い時間でございましたけれども、コーナーについては例年同様の32コーナーを開催し、従事職員も例年並みの1,200人余り、協力のあった機関につきましても、前年同様の規模でやれたということでございます。ただ残念ながら、7の参加者数につきましては、最初はちょっとやはり出足が……。天気の状態もあったので様子見だったのかなと思いますけれども、少したちますと、それなりに人が押しかけてきまして、1万2,000人ほどということで、整理をさせていただきました。迷子のところでございますけれども、3歳ぐらいの女の子が2人、どこかはぐれてしまったようで、本部のほうに来たというのがございましたけれども、無事に引き渡しことができました。また例年すり傷などが何人かはあったようですけども、今年はけが人も特になかったということでございます。

最後のつり大会のところですが、お客様は約455人ぐらいだというふうに報告を受けております。また、こういった中で懸念されておりました放射線量の問題でございますけれども、当日、本部のテントの脇に紙をA3に拡大して貼って、場合によってはもし資料をほしいということ

であれば、前回の教育委員会で報告させていただいた資料を用意はしていたのですけれども、特にそういうことでのオーダーや、クレームはございませんでした。一部、やはり区に要望を出していた団体の方が確認にお見えになったという状況があり、「こんな張り紙では小さくて見えない」などつぶやいていたというような話は聞いたのですが、特にそれ以外の方については、そのことに全く触れられもせず、無事に終わったというふうに思っております。そうした中で、問題なく終わられたのは、何とか成果だったのかなというふうに思っています。来年こそはまたいい天気で、1日フルにやればいいなというふうに思っております。その節はご協力、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○委員長 お疲れさまでした。報告ございましたが、質問等ありましたらお願ひいたします。

遠藤委員。

○遠藤委員 大変難しい判断を迫られるような中で子どもまつりの実施につきまして、その労に対しまして、心から敬意を表するものであります。天気に加えて、放射線という問題もさることながら、さまざまな場面で、さまざまな判断を下さなければならなかったのではないかと思います。その中で実施できたということ、これは区民の皆さんも喜んでいただいているのではないかと思います。ましてや雨天中止という、雨天の場合はなしということで、延期はなしということでありますので、やはりいわば1回勝負みたいなのところがありまして、それだけに大変なご苦勞があったのではないかと思います。心から感謝を申し上げます。

以上です。

○委員長 竹高委員。

○竹高委員 私も感謝の言葉と、感想を一言。午前中、回らせていただいて、とても子どもたちが楽しめることを皆さんで一生懸命主催していただいたと思っております。

雨が11時過ぎに降り始めまして、12時で中止というふうに決断なされたのは、その後も1時間半ほど降っておりましたので、よい判断だったのではないかというふうに、保護者の視点から考えますと、そういうふうに思ひます。ただ、子どもたちはちょっと残念そうな顔をしてたのがちょっと引かかったので、来年は晴天での開催ができると喜ばしいなと思っております。

あと、保田のしおさいの子どもたちが来ているのも聞いておりましたので、それを急遽舞台でやらせていただけることになって、保田の保護者の方とも喜んでおりましたので、そういう臨機応変な対応のほうは、これから先も続けて、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

○委員長 では私から。

本当に、改めて葛飾はいいところだなと、そのように思ひました。あの広い芝生、たまに散

歩に行きますと、広い芝生なのですけれども、あの日はいろいろコーナーがありますので、全然広いと思わないぐらい、そこにたくさんの人が集まって、本当にいいところだなというのを改めて思いました。それと協力団体や機関がこんなにたくさんいるのだということに、改めて心からお礼を申し上げたいと思います。準備と、いろいろ計画と、後始末と大変だったと思います。ありがとうございました。

では、次にまいります。報告事項等5「エンジョイスポーツ2012の開催について」、生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは報告事項等5でございます。エンジョイスポーツ2012の開催につきまして、ご報告申し上げます。

こちらのエンジョイスポーツにつきましては、ジュニアエンジョイスポーツとシルバーエンジョイスポーツを合体させまして、葛飾のオリジナルのスポーツのイベントでございます。今年平成24年5月13日の日曜日に総合スポーツセンター陸上競技場にて開会式を開催するものでございます。その後でございますが、来年の3月下旬までのジュニアエンジョイスポーツの大会などを含めまして、開会式では約4,000人規模、大会を含めると約7,000人規模のスポーツイベントでございます。

それでは、もう1枚でございます。カラーコピーの原稿でございますが、ご参考をお願いいたします。エンジョイスポーツ2012ということで、「子ども達に夢と希望を…！一流アスリートを招いたスポーツの祭典」ということで、実施してございます。

今年が目玉でございますが、元プロ野球選手の少年野球教室は、今年横浜の監督に名前が挙がった工藤公康さんに来ていただきます。また、吉村禎章さん、木戸美摸さん、この3人をお願いするイベントでございます。また、1,000人規模の参加者を募ります少年少女サッカー教室につきましては、修徳高校OBでございます北澤豪さんにお越しいただけることになってございます。また、バレーボールにつきましても、オリンピックの齋藤信治さん——ノブコフ205ということで、身長が205センチということで、大きなアタッカーということでございます。このほか、午後のバスケットボールにつきましては、同じくオリンピックの桑田健秀さん——こちらは大田区の総合型地域スポーツクラブの理事長をやっていただいております桑田さんでございます。そのほか、卓球教室の西沢美佳さん、少年少女剣道教室ということでございます。

中をお開きいただければと思います。総合開会式の内容でございます。こちらの一部、修正がございます。演奏につきましては、共栄学園中学校ではございませんで、葛飾吹奏楽団ブレイジングランクスアンドジュニアバンドということに変更になってございます。右側でございますが、区民スポーツ大会ジュニアの部、また下のほうがシルバーの部ということで開催をされる日程がございます。さらに一番最後のページでございます。昨年に行進状況、また、共栄学園バトン部による実演などの写真を載せさせていただいております。去年の開会式の際に

は、開会宣言を行っていただきますジュニア代表とシルバー代表で、お約束はなかったのですが、年齢をそれぞれいただきまして、60歳差ということで、非常に場が和んだという記憶がございます。ことしも「エンジョイスポーツ」という趣旨にのっとりまして、また開催したいと思います。

報告は以上でございます。

○委員長 今報告がございました。質問等ありましたらお願いをいたします。

松本委員。

○松本委員 このエンジョイスポーツは、お年寄りにいつまでも元気に、医療費を使わないで、健康に動いていただきたいということで大きく貢献しています。それから、小中学生がスポーツに興味を持って、底辺の拡大に大きく貢献しています。特に学校体育だけとか、小・中体連だけでやり切れない部分の大会をこの大会が興味づけ、意識づけて、それからゲームまで運んで1年間やっていただけるのは、本当にありがたいと思います。よろしくをお願いします。

○委員長 よろしくをお願いいたします。ほかにございませんでしょうか。では、どうぞよろしくお願いいいたします。

では次にいきます。報告事項等6「総合スポーツセンターのリニューアルオープンについて」、生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 続きまして、報告事項等6、総合スポーツセンターのリニューアルオープンにつきまして、ご報告申し上げます。

今度の日曜日でございます、平成24年4月29日祝日でございますが、総合スポーツセンターをリニューアルオープンさせていただきます。今回、23年11月1日から工事に着手いたしまして、先日、4月25日までの完工ということで終了したものでございます。

おおむね総工費でございますが、平成33年までの空調設備リース料を含めまして、総工費約9億9,000万円かかってございます。

リニューアルの内容でございます。電気設備——受変電、自動火災報知、電話交換機等の交換、また、照明のLED化、給排水設備——受水槽、ポンプの更新、配管の交換などをしております。また、大体育室の床の張りかえをやっております。あと、観客席のいすも交換してございます。加えまして、大きな部分でございますが、空調設備——エアコンでございますが、大・小体育室、また第一・二武道場、弓道場に新設をさせていただきました。

リニューアルオープンの式典につきましては、29日の9時30分から、第65回区民体育大会総合開会式中に、およそ9時50分から10時までの間でございますが、区長、区議会議員、教育委員長、体育協会会長によるテープカットと松本委員によるくす玉割りをお願いしたいと思っております。

報告は以上でございます。よろしくお願いいいたします。

○委員長 今の報告に対しまして質問等ありましたら、お願いをいたします。

松本委員。

○松本委員 工事期間中に、工事の進捗具合によっては、使えるところは使ったほうがいいということも考慮していただいて、それから、工事しているときに、ほかのところでできるような配慮もして、何とか乗り切ってきたわけですけれども、本当にご苦労さまでした。

私は新聞でこの体育館がリニューアルされて、ゴールデンウィーク前に完成して、ゴールデンウィークにさまざまなイベントがあるぞというチラシを見たのですけれども、わくわくするようなコーナー、イベントが設けてあって、区民も待ち遠しく思っていると思います。私も申し込んだのですけれども、もうとっくに定員をオーバーしております、かなり人気の高いものも工夫されているので、これからオープニングそして利用が盛大に行われるよう、期待しています。

○委員長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 ご支援ありがとうございます。こちら也非常に体育団体等の皆さん方にはご迷惑をかけましたが、今回検査に立ち会いまして、LEDを含めまして、非常に明るい施設になったと思います。また、地震等に対しても、照明等が落ちないような構造にしたり、あまり目立たないのですけれども、さまざまな配慮をさせていただいております。また、空調機が、柱のところ……。この写真では見えにくいところなのですが、空調機が特に柱のところに出てございます。これにつきましてはバドミントンの羽根や卓球のボールなどが影響を受けないような優しい風を出しているということで、細かい配慮をさせていただいております。また、こちらの張り替えの際でございますが、バスケットのコートのルールが変わってございますので、こちら、一部見えるところなのですけれども、新しいルールでのコートの線をかかせていただいたりという工夫もさせていただいております。

また、今回のイベントにつきましては、ボクシングの内藤大助さんに講演をやっていただきます。こちらにつきましては本当に、1日半ぐらいですぐ埋まってしまって……。また、バレーボールのヨーコ・ゼッターランドさんと、非常に、有名人もお越しいただけるように努力してやっていただいております。ますます総合スポーツセンターの利用、また、スポーツ全体の振興ということで、役立てていただければと思います。ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。ほかによろしいですか。

佐藤委員。

○佐藤委員 大変きれいになって、いいなと思うのですけれども、今まで入っていなかった空調設備が入るわけです。多分これも委託業者にやらせて、全部管理するわけですか。そうした場合、料金なんかもどういふふうになってくるのか、ちょっと……。

○委員長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 機械の運営につきましては、指定管理者の設備担当のほうに運営をさせる予定でございます。当然付加機能でございますので、料金につきましては、追加させていただく予定なのですが、現状ではまず入れて、昨今、省エネの、電力の節減の問題もございまして、今年1年間につきましては、当面料金を付加しない形でさせていただきます。利用実態等、利用状況がいろいろ確認できた段階で、来年度また使用料の算定委員会がございまして、そちらに付議をしながら、全体の利用料の中で考えていきたいということでございます。

○委員長 よろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。

では私のほうから。リニューアルに対して、明るさとか、それから先ほども出ておりましたが、バドミントン等を考えた風の出し方とか、いろいろなところに工夫ができていて、いいリニューアルがされたというふうに思いました。区民の方々がたくさん利用が増えますように、私もそのように思います。

では、次にまいります。ここで教育委員の皆様から何かご発言がございましたらお願いをいたします。

松本委員。

○松本委員 昨日新聞を見ておりましたら、こういう記事がありました。

5月21日に金環日食が見られるわけですけれども、相模原市でははやぶさの管制室が設けられて、宇宙に対して非常に力を入れている市なのですけれども、当日は市長さんが子どもたちの登校時間をずらして空を見ながら学校に行く子どもの事故防止をするとか、それから見るときに、見方が悪いと目を負傷するということに対して、専門の見る眼鏡と言いますか、それを子どもたちに配ってやるのだということが書いてある記事を読みました。そこで私は、本区の児童・生徒たちもこれに対しては大変関心を持っているので、登校時間を動かすというのは難しいと思うのですけれども、空を見ながら歩いたりすることは危険なので、その注意を促すということとか、きちんと道具を使って見ないと、目を傷めるということへの注意は各学校から子どもらによく伝えておいたほうがいいのではないかとことを思いましたので、ここで発言いたしました。

○委員長 生涯学習課長。

○生涯学習課長 学校の、今のお話、松本委員さんのお話とはちょっと違うのですが、博物館の授業として、今回金環日食についてということで、葛飾区の「広報かつしか」それからホームページ等で募集をしまして、5月21日、朝の6時半から9時まで館を開けてやります。お話ししたように、50名程度の人員ということになってしまうのですが、それはやはり望遠鏡等、そういったものを見るのに人数的な制限があるということで、一応50名程度の募集ということで、ホームページ、それから「かつしか」の広報に出しております。費用といたしましては、先ほどもお話がありましたように、眼鏡をかけないとやはり危ないということがございまして、

その参加費の中に150円の眼鏡と、入館ということであわせて300円の費用を取るということで、金環日食については博物館としてはこのような授業を行うということでもあります。

○委員長 指導室長。

○指導室長 先ほどの松本委員からのお話でございます。昨日、事務連絡として私の名前で各学校と園長に対しまして、平成24年5月21日、日食に関する注意事項についてということで、文書を出させていただきました。その中で申し上げたことは、やはり173年ぶりの首都圏で見られる金環日食になりますので、科学への興味を高めるいい機会であるということは書きましたけれども、あわせて、目を傷めてしまうとか、そういう誤った観測をするとそういうことになるということも含めて、各学校、そして園長に対して文書を出させていただいてあります。

あわせて、各学校が、もし校長の判断の中で登校時刻を早めて、学校でそういう観察会を行うのであればということで、そのようなひな形の文章も添えてお送りしております。

なお、保護者へ向けてのご注意いただきたい事項についてもそこに書いておりますので。例えば登校中にそういう上を見て、けがをすとか、何も使わないで見ることは危険であるということも含めて、ご連絡をしております。また、このことについては、非常にすばらしいチャンスでもあるので、事故防止にも努めてまいりたいと思います。

○委員長 ありがとうございます。

そういう科学的なものへ、興味を持つ大変ないいチャンスととらえて注意を出していただいていること、ありがたいと思います。どうぞよろしく願いをいたします。

ほかに、委員さんございませんか。

では、ないようですので、続いて「その他」に入ります。

では、庶務課長、一括でお願いします。

○庶務課長 まず、1の「資料配付」でございます。5月の行事予定表をお配りをしてございます。

それから2012年度の「早寝・早起き 朝ごはん食べようカレンダー」、これは幼児用と小学生用をお配りいたしました。

次に「出席依頼」でございます。11件ございます。まず5月13日、日曜日、エンジョイスポーツ2012総合開会式でございます。これは委員長にお願いをいたします。それから学校経営プレゼンテーションでございます。これは1回から5回ございます。5月14日、15日、17日、18日、21日の5回でございます。これは全員にお願いをいたします。次に5月26日土曜日、郷土と天文の博物館におけます企画展、「平櫛田中とかつしか」オープニングセレモニーでございます。これは委員長にお願いをいたします。6月5日火曜日、小学生狂言教室でございます。これにつきましては遠藤委員にお願いをいたします。6月15日金曜日、小学校音楽鑑賞教室でございます。これは竹高委員にお願いをいたします。6月22日金曜日、中学校特別支援学級連合

体育祭でございます。松本委員にお願いをいたします。6月30日土曜日、よい歯の集いでございます。委員長にお願いいたします。

次に、次回の教育委員会でございます。5月11日金曜日、午前10時からでございます。

よろしくお願いいたします。以上でございます。

○委員長 それでは、よろしいでしょうか。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 机上配付させていただきましたが、郷土と天文の博物館の企画展として、「平櫛田中とかつしか」展のチラシを置かせていただきました。5月26日から6月17日まで開催させていただきます。

教育委員の皆様には、企画展の開催日5月26日の前日である25日の午後1時から2時まで、内覧会を予定しております。改めてご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。

それから、面田委員長には、先ほどもお話がありましたが、5月26日9時からのオープニングセレモニーでテープカットのほうをお願いいたします。あわせてご通知させていただきます。

なお、今回の企画展でございますが、300円の観覧料を取ってございます。今回の企画展は区政施行80周年の事業ともなっております、今回の協力ということで、小平の平櫛田中彫刻美術館をはじめ、東京藝術大学大学美術館、岡山県の井原市にございます田中美術館、それから岡山の県立美術館等、多くの美術館等にご協力いただきまして、貴重な芸術品を24点。また、田中の書物その他も、貴重なものをかなりお借りしまして、相当グレードの高い展示となっております。したがって、条例の中で、企画展等においては、大人にですが1,000円以下の料金を徴することができることとされておまして、今回天文の料金は350円ということもございまして、それとの均衡ということで300円を徴収させていただくということをお願いしたいと思っております。

なお、教育的な観点もございまして、中学生以下は無料という形にさせていただこうと思っております。よろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長 よろしいでしょうか。

区政施行80周年記念企画展、どうぞよろしくをお願いいたします。

では、よろしいですね。これをもちまして、平成24年度教育委員会第4回臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。お疲れさまでした。

閉会時刻 11時10分